

NPO 法人抗がん剤曝露対策協議会

理事長 垣添 忠生

教育委員会 委員長 中西 弘和

抗がん剤曝露対策に関する実態調査アンケートご協力をお願い

謹啓 益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

抗がん剤曝露対策協議会は、2014年4月30日に抗がん剤の使用に関わる医師、看護師、薬剤師などを中心とした多職種からなるチームで設立し、抗がん剤曝露対策に関する既存のエビデンスと新規エビデンスを蓄積し、抗がん剤が安全に使用できるような環境作りをすることを目的に活動を行っています。

昨年は、2014年5月29日に、厚生労働省労働基準局安全衛生部・化学物質対策課長名で、関係団体の長宛に抗がん剤等を取り扱う薬剤師や看護師等の労働者の曝露防止対策の留意事項取りまとめ（下記5項）と曝露防止対策への取組促進の通達が発出されました。

- 1 調製時の吸入ばく露防止対策のために、安全キャビネットを設置
- 2 取扱い時のばく露防止のために、閉鎖式接続器具等（抗がん剤の漏出及び気化並びに針刺しの防止 ーを目的とした器具）を活用
- 3 取扱い時におけるガウンテクニック（呼吸用保護具、保護衣、保護キャップ、保護メガネ、保護手袋等の着用）を徹底
- 4 取扱いに係る作業手順（調剤、投与、廃棄等におけるばく露防止対策を考慮した具体的な作業方法）を策定し、関係者へ周知徹底
- 5 取扱い時に吸入ばく露、針刺し、経皮ばく露した際の対処方法を策定し、関係者へ周知徹底

また、11月23日に、医療安全全国フォーラム2014において、医療安全全国行動目標の10項目目として新たに抗がん剤曝露に関する下記の行動目標が追加されることが発表されました。

行動目標 W（Healthcare Healthcare Worker） 医療従事者を健康被害からまもる

- ・抗がん剤曝露のない職場環境を実現する
- ・感染症の拡散を防止する院内手順遵守する

こうした状況・背景において、早急に抗がん剤曝露の実態調査（施設、医師、看護師、薬剤師向け）を行い、本実態調査を基に、具体的な目標の設定、支援ツールの作成、目標設定のための教育活動等を行っていく所存です。

つきましては、まず薬剤師の方々向けのアンケートを作成いたしました。貴部署の薬剤師の方々对本実態調査アンケートへのご回答のご協力をお願いいたします。

アンケートは、下記 URL のインターネット上で実施いたします。

https://docs.google.com/forms/d/1Rhd6I8JIySMxeDziGmd7ZlglF1OyE8ObiZha-a_lni8/viewform

本アンケートの結果は、適切な学会で報告、公表いたしますが、施設名、個人が特定できる形での公表はいたしません。

本協議会の活動を進め、抗がん剤対策の意識が医療関係者の間で共有され、さらに一般の方々にも認識されることにより、クリーンな環境で抗がん剤が使われる社会の実現を目指します。ご理解とご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

<本件に関するお問い合わせ先>

NPO 法人抗がん剤曝露対策協議会事務局代行（株式会社コンパス）

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目3番11号

Tel. 03-5840-6131

E-mail : info@anti-exposure.jp